

佐久大学大学院

看護学研究科 看護学専攻
科目等履修生

2025 年度 学生募集要項



目次

1. 趣旨	1
2. 募集人員	1
3. 入学の時期	1
4. 出願資格	1
5. 履修期間及び対象科目	1
6. 検定料及び授業料	1
7. 出願書類	2
8. 出願について	2
9. 選考結果通知及び入学手続	3
10. その他	3
11. 科目等履修生への開講予定科目一覧	4
12. アクセス	6

1. 趣旨

佐久大学では、2025 年度に大学院で開講する科目のうち特定の科目について、次により科目等履修生を募集します。科目等履修生は、授業科目を履修し所定の試験等に合格した場合、本学の単位が修得できます。

2. 募集人員

各科目若干名

3. 入学の時期

- (1) 前期：2025 年 4 月
- (2) 後期：2025 年 9 月

4. 出願資格

- (1) 大学（学校教育法第 83 条に定める大学をいう）を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により、学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2025 年 3 月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- (5) 専修学校の専門課程（就業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 短期大学、専修学校、各種学校の卒業者で看護師の免許証を有し、入学時に 3 年以上の実務経験を有する者で、出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者
- (7) その他本研究科において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

5. 履修期間及び対象科目

- (1) 履修できる期間は 2 年間を限度とします。
- (2) 対象科目は「科目等履修生への開講予定科目一覧」([4～5 ページ](#))のとおりです。
- (3) 履修できる単位は 15 単位までとします。

6. 検定料及び授業料

- (1) 検定料 10,000 円（2 年目継続登録の場合は不要）
- (2) 授業料 1 単位につき 28,000 円
※振込手数料は受験生負担

7. 出願書類

以下の出願書類を封筒（角 2/240mm×332mm）に入れ、出願期間内に本学事務局入試広報課宛に持参又は郵送（簡易書留）するとともに、検定料を納入してください。

（１）入学願書

本学所定の用紙を下記の URL からダウンロードして A4 用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

（２）履歴書

本学所定の用紙を下記の URL からダウンロードして A4 用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

（３）志望理由書

本学所定の用紙を下記の URL からダウンロードして A4 用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

（４）出願資格を証明する書類（最終学校の卒業証明書若しくは卒業見込み証明書又は看護師免許状などその資格に関する証明書の写し）

●検定料の納入

以下の振込先口座に志願者本人名義で納入してください。振込手数料は、振込人（志願者）負担となります。なお、既納の検定料は、如何なる理由があっても返還できません。

<振込先口座>

八十二銀行 岩村田支店 普通 No.787302 佐久大学（サクダイガク）

8. 出願について

（１）出願前面談

書類を提出する前に、受講希望科目の調整を要することがありますので必ず研究科長との予約を取り面談してください。

※面談のための連絡先：佐久大学事務局入試広報課

電話：0267-68-6680 E-mail：admission@saku.ac.jp

氏名、メールアドレス、履修希望科目をお伝えください。面談日程の調整をいたします。

（２）出願先

〒385-0022 長野県佐久市岩村田 2384

佐久大学事務局入試広報課

（３）出願期間

１）前期：2025 年 1 月 28 日（火）～2 月 7 日（金）（必着）

２）後期：2025 年 7 月 29 日（火）～8 月 7 日（木）（必着）

（４）受付時間

出願期間内の土・日曜日及び祝日を除く平日の午前 9 時から午後 5 時 30 分まで

9. 選考結果通知及び入学手続

(1) 選考結果通知

選考結果は、以下の期日に入学願書に記載された志願者本人の住所宛に「選考結果通知書」を郵送します。電話・メールでの紹介には応じることができませんので、ご注意ください。

前期：2025 年 2 月 20 日（木）

後期：2025 年 8 月 ~~29~~ 28 日（木）

(2) 入学手続

合格者で入学される方は、所定の期日までに入学手続を完了して下さい。なお、入学手続に必要な書類は別途お知らせします。

10. その他

(1) 授業は原則として火曜日・木曜日、または集中講義として開講します。

(2) 時間割は決定次第お送りします。

(3) 納入した検定料・授業料は返還しません。

(4) 修得した単位については、本人の申請により単位修得証明書を交付します。（翌年 4 月以降）

(5) 在学証明書、学割証、通学証明書は発行できません。

(6) 募集要項に関して不明な点は下記にお問合わせください。

佐久大学事務局入試広報課 TEL：0267-68-6680(代表) FAX：0267-68-6687

11. 科目等履修生への開講予定科目一覧

(2025.1.27.現在)

区分	科目名	予定教員	開講予定時期	授業の概要
総合的分野	看護コミュニケーション論	坂江 千寿子	前期	われわれは、生まれながらにしてコミュニケーションのすべを身につけ、互いの行動に影響を与え、また人々の行動を理解してきている。看護実践においてもコミュニケーションは重要な要素であり、ケアそのものともいえる。しかし、看護実践をさらに効果的に行うために、改めてコミュニケーションとは何かを考え、その意義と役割をよく理解することが必要である。コミュニケーション概念の明確化、関連する諸要因、患者－看護者関係とコミュニケーションについて学習する。日常生活や看護実践で経験するコミュニケーションの例を参考にしながら、コミュニケーションのあり方を理解する。
	国際保健論	甲斐 一郎 (非常勤講師) 他	後期	発展途上国を中心として世界の保健医療事情を学習し、さまざまな健康上の課題を多文化的な視点から理解する。また、国際保健医療活動のあり方についての学びを通して、望ましい国際協力の方法、体制づくりを学ぶ。
	看護倫理	八尋 道子	後期	この授業では、医療現場において生じる倫理的な課題・葛藤について、患者・家族・医療チームの間で倫理的調整を行うための基礎的知識と方法および言語化を、講義と演習（ケーススタディ）の組み合わせで体得していただきます。さらに、看護専門職としてヘルスケアを提供するという状況の中で、自分の価値と他者の価値を吟味し、倫理的観点からその価値の意味を考察することにより、倫理的能力の促進を目指します。
	看護情報・分析	朴 相俊	前期	看護情報システムの基本概念を学び、情報の整理、分析方法、データの見方などを検討・考察する。情報システムやデータを看護活動の実現場面や、看護管理へ活用する方途について考察する。また文献を読み、データ解析手法の適用について考察する。
	保健医療福祉政策・制度論	小林 恵子	後期	社会福祉と保健に関する政策と制度の基礎と原理について学び、今日の地域ケア課題の中における保健と社会福祉の重なりや役割分担について理解を深め、ヘルスケアにおいて、社会福祉の価値、方法・技術とサービス資源を活用した統合的実践ができるような知識、能力を習得すること。
	ヘルスプロモーション/健康教育	細谷 たき子	前期	ヘルスプロモーション論、地域社会の背景を捉え、健康増進・疫学・疾病予防を促進するための高度な知識・技術を修得する。

※以下の専門分野科目については、正規学生で履修者がいる科目のみ可能となります。

区分	科目名	予定教員	開講予定 時期	授業の概要
専 門 分 野	看護管理学特論	齋藤 順子	前期	保健医療福祉を取り巻く環境と経済を概観し、看護サービスおよび看護管理のあり方を教授する。医療提供体制の創造と変革に影響力のある看護組織運営について看護管理過程を学び、看護管理を巡る課題を多角的に検討し、看護管理者としての具体的な取り組みについて探求する。
	母子看護学特論Ⅰ	湯本 敦子	前期	母性・父性・親性、子ども、家族の健全な育成とケアに活用できる理論を学び、看護実践への活用方法を考察する。さらに、母性看護における倫理や研究の動向について学ぶ。
	母子看護学特論Ⅱ	鈴木 千衣	前期	小児、家族および小児・家族を取り巻く環境を理解するために、関連する理論を学び、看護実践への活用方法を考察する。さらに、小児保健医療の動向を理解し、今後の小児看護の課題を探求する。
	成人看護学特論	水野 照美	前期	成人看護学領域の研究に影響を与える主な医療政策の動向、及び看護理論、理論における概念構成について講義をする。成人看護学の臨床上の看護ケア、患者の意思決定、患者教育、家族ケアなどに関する研究論文の分析、クリティークをする。
	精神・老年看護学特論Ⅰ	柿澤 美奈子	前期	精神保健看護と関連の深い基礎理論を、研究および実践への適用の観点から概観する。さらに精神保健看護の研究手法について文献を読み、討議し、考察して、現代社会及び地域の精神保健看護の課題について考察する。
	精神・老年看護学特論Ⅱ	諏訪 達彦	前期	地域で健康に暮らす高齢者、老化現象や高齢者特有の疾患により、生活障害を持って過ごす地域在住高齢者、あるいは病院や施設でケアを必要としている高齢者、やがて終末期を迎える高齢者に対して、連続した視点でとらえ、障害の原因を探る。そして、高齢者ケアについて学修を深める。
	地域・在宅看護学特論Ⅰ	小林 恵子	前期	地域看護の概念・理論および地域診断から施策化について探求するとともに、ケアシステムの形成および政策形成プロセスと社会資源の開発に関する講義、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。地域をフィールドに地域住民や関係者と共に取り組む具体的な実践事例を用い、より質の高い実践活動に向けた地域看護技術の開発方法を探求する。
	地域・在宅看護学特論Ⅱ	河原 加代子 (非常勤講師)	前期	在宅療養者とその家族等在宅ケアニーズを有する人々の健康状態の改善と日常生活自立への支援、QOLの維持・向上を目指す地域・在宅看護学の役割と現状での課題を探求するとともに、ニーズに合わせた在宅ケアシステムの構築方法並びに質の高い看護介入の方法の開発について教授する。今後更なる課題となる認知症の地域包括ケア、在宅における終末期ケアの質向上への方策について現状を踏まえて探求する。
	プライマリケア看護学特論Ⅱ (生涯発達とプライマリケア)	松下 由美子 他	前期	各ライフサイクルの発達課題の視点から健康を捉え、疾病の予防と健康の維持増進に関する看護実践に必要な知識と技術を学習する。 (小児) 重症児は健康状態が変化しやすく個性の高い看護ケアを必要とする。また、障害があっても成長発達していく子どもたちの発達を促すような関わりも必要である。子どもの養育に当たる家族にも大きな負担がある。家族には子育てを楽しみ、親としての喜びが持てるような支援が必要である。ここでは、重症児のライフステージにそって子どもと家族に起こりうる困難や課題を知り、子どもと家族が安心して地域で暮らすために長期的な見通しをもって関わるための援助について考える。 (成人) 成人を発達段階の視点から捉え、特に生活習慣病や成人に特有の多様な健康問題や疾病の予防と治療に関する高度な看護実践に必要な知識と技術を学修する。女性の健康問題を含む。 (老年) 地域で暮らしている高齢者、病院や施設でケアを必要としている高齢者の健康課題とその原因を探る。そして、最期までその人らしく生きることを支えるケアについて学修を深める。

各科目 2 単位

12. アクセス



- ☐ 公共交通機関：北陸新幹線「佐久平駅」、JR 小海線「佐久平駅」から徒歩約 15 分。スクールバスで 5 分
- ☐ 高 速 道 路：上信越自動車道「佐久インター」から車で 10 分。
中部横断自動車道「佐久中佐都インター」から車で 3 分。
- ☐ Google map URL：<https://goo.gl/maps/jFi7G42LJALwaHDS6>

入試に関するお問い合わせは下記にお寄せください



佐久大学 事務局入試広報課

〒385-0022 長野県佐久市岩村田 2384

TEL:0267-68-6680 FAX 0267-68-6687

E-mail:admission@saku.ac.jp

<https://www.saku.ac.jp/>

2025/07/22 更新